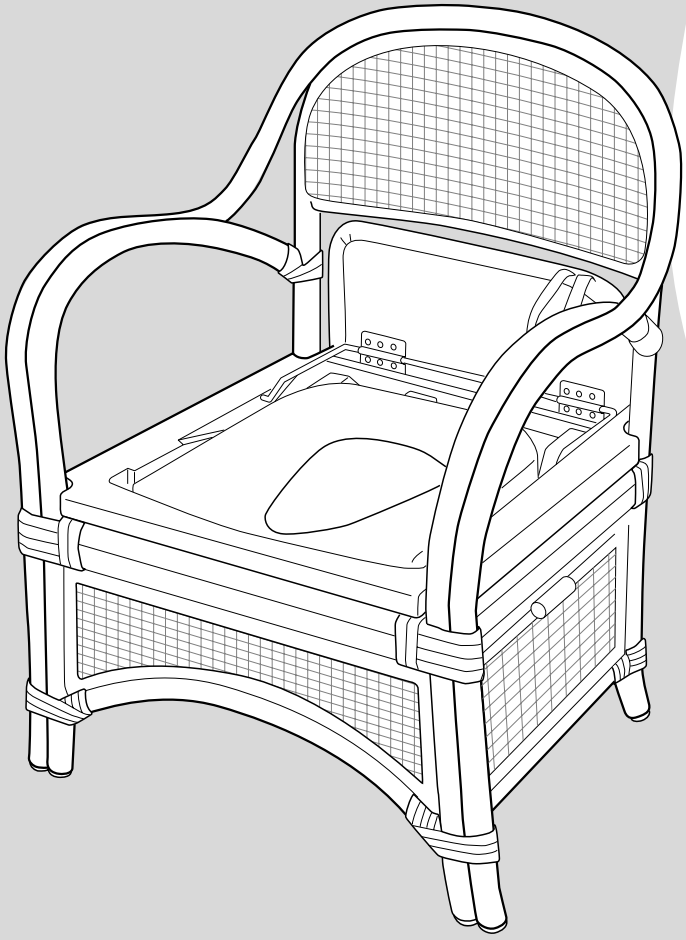
安寿（あんじゅ）

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

家具調トイレ自立ラタンR〈快適脱臭〉取扱説明書

このたびは家具調トイレ自立ラタンR〈快適脱臭〉をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。



もくじ

安全上のご注意	1・2
各部のなまえと仕様	3
特長	4
使いかた	4~6
お手入れの方法	7~9
故障かな？と思ったら	10

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠ 警告

絶対に分解・修理・改造をしないこと
正常にはたらかず、けがの原因になります。

ぬれた手でACアダプターの抜き差しをしないこと
感電の恐れがあり大変危険です。

ACアダプター・コードを破損するようなことをしないこと
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないこと
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

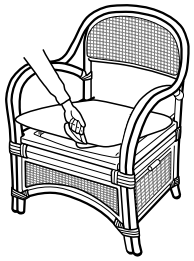
ACアダプターは、根元まで確実に差し込むこと
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだACアダプター、ゆるんだコンセントは、使用しないでください。

お手入れの際は、必ずACアダプターをコンセントから抜くこと

ACアダプターのほこり等は、定期的に取り除くこと
ACアダプターにほこりがたまると、湿気等で、絶縁不良となり、火災の原因になります。
●長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

⚠ 注意

座面の開閉は、必ず持ち手を持って行うこと
別の部分を持って行うと指をはさむ原因になります。



ACアダプターを抜くときは、コードを持たずに必ずACアダプターを持って引き抜くこと

安全上のご注意

⚠ 注意

使用者が用便等の際、自分自身の身体を十分に安定させられない場合は、介助者が必ず付き添うこと

必ず平たんな場所で使用すること

直射日光を避けて、室内でのみ使用すること
変色やソリ・ひび割れの原因になります。籐製品は強度を保つため、生産上の各種工夫がされております。無理な扱いをすると使用している釘やビスが、保護している部材から突き出る原因となり、危険ですので丁寧にご使用ください。

脱臭器は、水洗いしないこと
脱臭器の内部に水が入ると故障の原因になります。

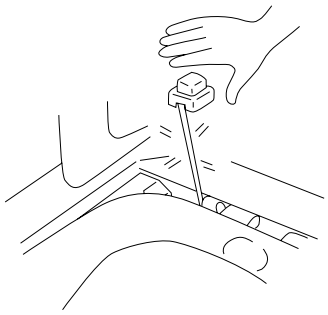
脱臭器に小便や水をかけないこと

落としたり、強い衝撃を与えないこと

脱臭器の排気口に物や手を入れないこと
回転するファンにまきこまれ、けがの原因になります。また、ファンの故障の原因になります。

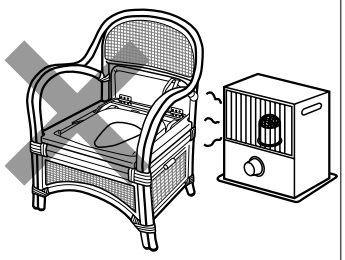
センサーを引っ張らないこと
故障、破損をする恐れがあります。

●持ち運ぶときは、センサーやセンサーコード、ふただけを持たずに、必ず脱臭器の本体を持ち、センサーに手をそえて持ってください。

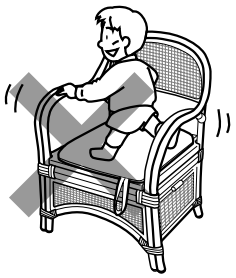


専用のACアダプター以外は使用しないこと
故障の原因になります。

熱器具の近くや湿気の多い場所には設置しないこと
火災や変形の原因になります。



座面やひじ掛けの上に立ったりしないこと
転倒し、けがの原因になります。

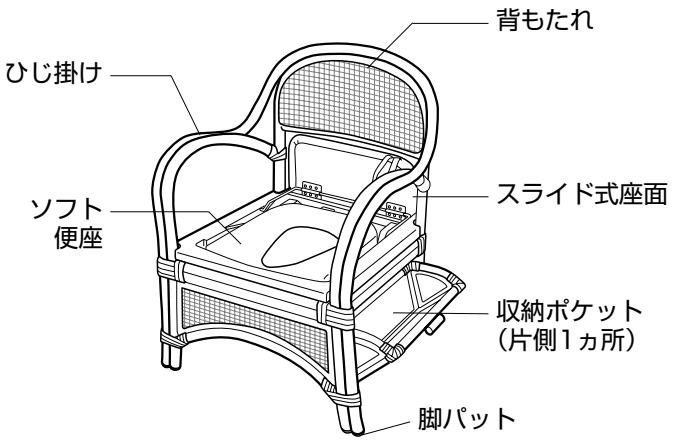


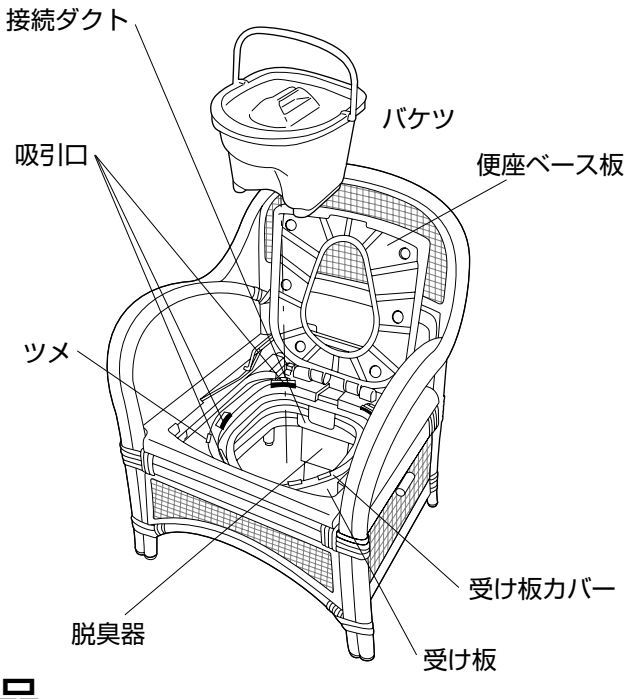
背もたれを手すりがわりに持たないこと
転倒し、けがの原因になります。

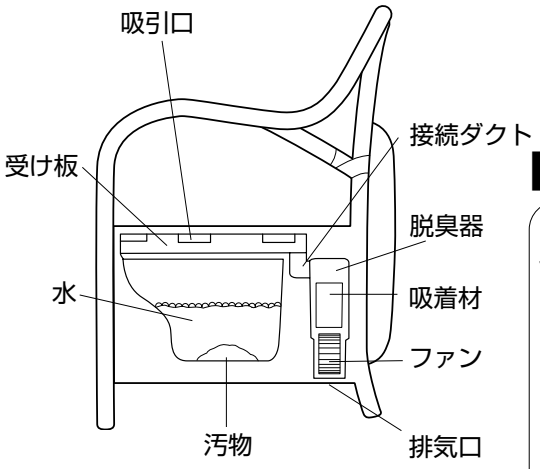
他の用途では使用しないこと

体重が100kgを超える方は使用しないこと
本体が破損をする恐れがあります。

各部のなまえ

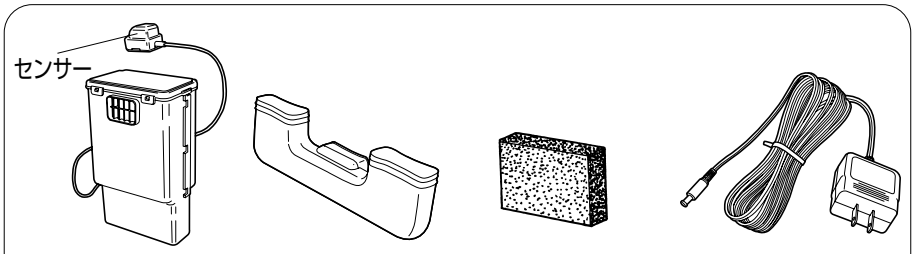






分解（断面図）

■部材・付属品



●脱臭器　●接続ダクト　●プレフィルター　●ACアダプター1個

●消臭剤フォームタイプ

■仕様

	品名　家具調トイレ自立ラタンR　快適脱臭	
	本　体	脱臭器
材質	構造部材／籐（ラタン） 表面加工／アミノアルキド樹脂塗装 張り材／合成皮革 クッション材／ウレタンフォーム ソフト便座／EVA（抗菌加工） 便座ベース板・受け板・バケツ／ポリプロピレン 脚パット／PVC樹脂	本体／ポリプロピレン 接続ダクト／ポリエチレン プレフィルター／ポリウレタン 吸着材／触媒配合ハニカム活性炭
寸法	幅65×奥行57×高さ82㎝ （便座までの高さ：38㎝）	幅13.5×奥行9.5×高さ22.1cm
重量	約13kg	約0.7kg
バケツ容量	約10ℓ	ー
電源	ー	AC100V（50/60Hz共用） DC12V（ACアダプター使用）
消費電力	ー	約5W
脱臭方法	ー	吸着脱臭方式
吸着材寿命	ー	約7年（1日1時間使用した場合）
動作	ー	人体を感知し自動的に起動 最終感知から5分後に停止
コード長	ー	約1.9m

特長

トイレの特長

●ジョイント部は、皮製のピール巻きを採用しています。
ジョイント部は、水牛皮のピール巻きを採用しています。四季に応じて緩み止め調節をする働きがあるため、ガタツキが発生しません。またささくれができず、肌触りもソフトです。

●安定性を向上させる箱形構造です。
座面下を箱形構造にすることで、ラタン特有のしなりを抑え、安定性を向上させました。

●座面は、じゃまにならないスライド式です。
座面は用便のときじゃまにならないよう、本体後部にスライドさせることが可能。背もたれを常に使用でき、座面の裏側が背中にあたらないため衛生的です。また、持ち手にはループしたヒモを採用。筋力の低下した方でもラクに開閉できます。

●収納ポケット付きで、さらに便利。
片側には、トイレットペーパー3個分を収納できる収納ポケットを設置しています。おしぼり・清拭剤・防臭剤などをいれておけば、さらに便利です。

●ムリなく立てる、ゆとりある足元スペース。
足元には、ゆったりとしたスペースを確保。自然な足の動きを妨げないため、立ち上がるときの身体にかかる負担を軽減します。

●ソフトな素材を便座に採用しています。
長時間座ることの多い方やおしりがやせた方のおしりへの負担を和らげるやわらかい素材です。ソフト便座は熱を伝えにくいので冬場でもヒンヤリ感が少なく、便座カバーが不要な便座です。また水を吸収しないので拭き取るだけの簡単お手入れです。（抗菌加工）

快適脱臭の特長

●吸引構造
便座の下に6ヶ所の吸引口があり、脱臭器とつながった吸引口から臭いを強力に吸い取ります。

●自動運転
センサーが、ポータブルトイレに近づく人に反応して自動で運転を開始します。また、人が離れてから約5分後に停止するタイマーつきです。

●吸着材
吸着材は、触媒配合ハニカム活性炭で、悪臭を吸着して取り除きます。吸着材の寿命は、1日1時間の使用で約7年間使用することができます。

使いかた

前準備

①防臭効果を高めるために
バケツに水を約2ℓ（バケツ内側の2と表示してある線まで）を入れ、消臭剤フォームタイプを入れておくと泡が臭いをしゃ断します。

※便器に座る前に用便されてしまう場合もあります。
あらかじめポータブルトイレ用消臭・防水シート（別売品）を敷いておくと、よりお部屋の清潔さが保たれ安心です。

使いかた

> ⚠ 注意
> **当社指定の防臭消耗品以外使用はしないこと**
> 脱臭器の吸着材は、臭いの成分を吸着するため、香料を含む薬剤を使用すると、吸着材の寿命が短くなるおそれがあります。

使用方法

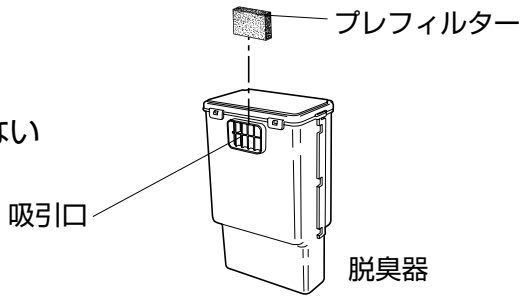
①スライド式座面を後部にスライドさせ、便座を上げ、バケツの蓋を外して使用します。
※バケツ内へは、ティッシュペーパーなどトイレットペーパー以外のものは入れないでください。
トイレで処理する際､詰まる原因になります。

使用後の処理方法

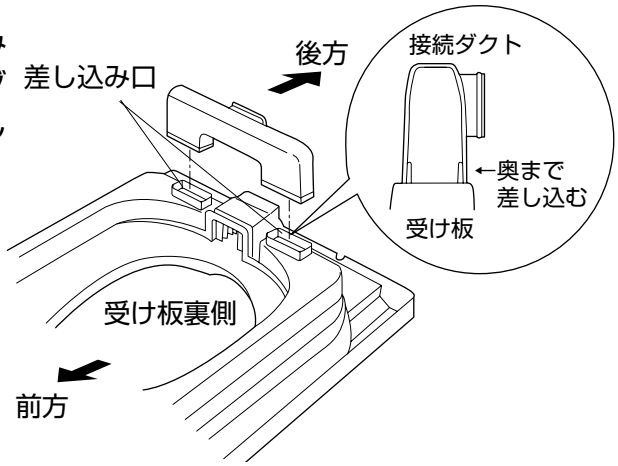
①汚物の処理について
ポータブルトイレからバケツを取りだして、汚物をトイレに流してください。

脱臭器の取り付けかた

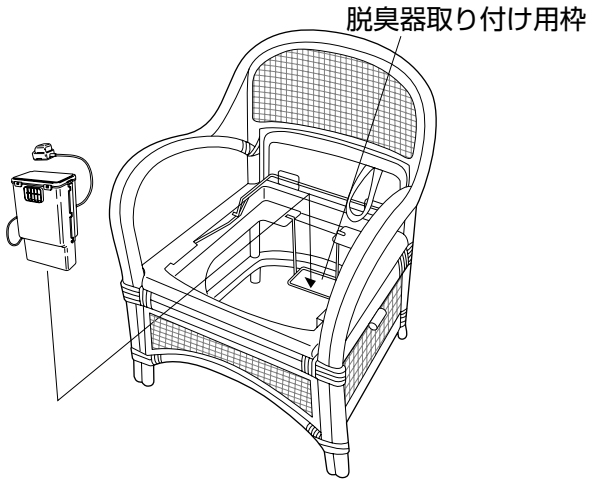
①脱臭器の吸引口にプレフィルターを取り付けます。
プレフィルターは、折れ曲がったり、しわがよらないように取り付けてください。



②本体から受け板を外し、受け板の裏側にある差し込み口（2つの穴）に接続ダクトを取り付けます。接続ダクトは、中央に穴のない面が前方となるように手でしっかりと奥まで差し込んでください。

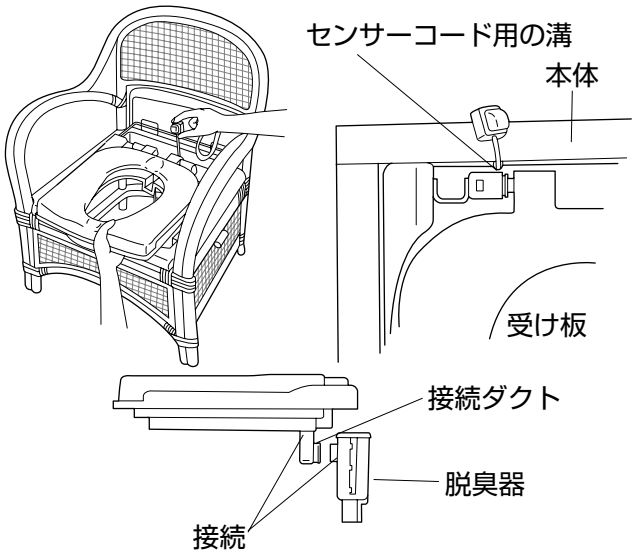


③脱臭器をトイレ本体の内側に取り付けます。脱臭器の吸引口が前方を向くように、トイレ本体内部に取り付けられた金属製の枠に脱臭器を差し込んでください。



使いかた

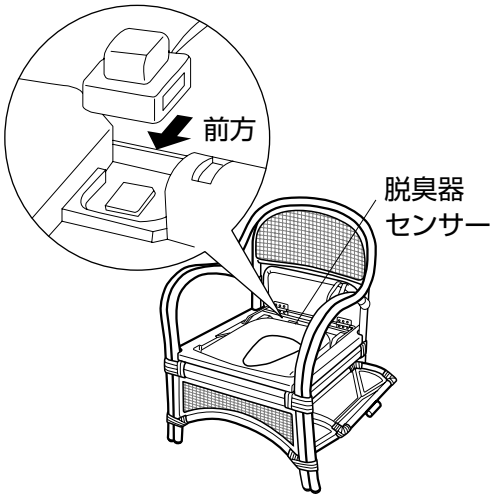
④センサーを片手で持ちながら、受け板をトイレ本体に取り付けます。その際、センサーコードが受け板のセンサーコード用の溝を通るように注意してください。はじめに、受け板の後方を本体に当ててから取り付けると簡単に取り付けることができます。この時、接続ダクトの中央の穴と、脱臭器の吸引口が接続されているか、確認してください。
本体横のポケットを開けて中が確認できます。



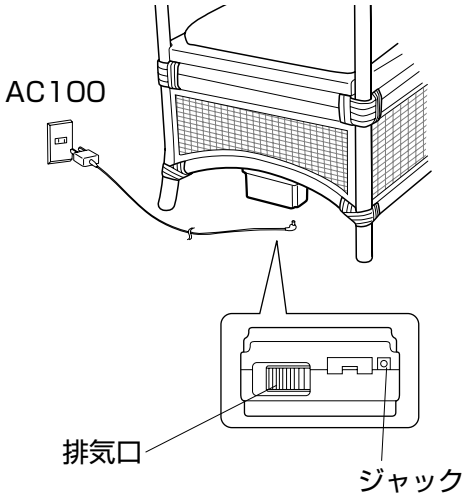
⚠注意

※接続ダクトは、しっかり接続してあることを確認すること
異物等を挿入したり、はさみ込まないこと
吸引力を低下させたり、故障の原因になります。

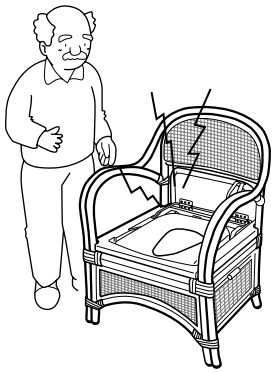
⑤図の向きに注意してセンサーを受け板のセンサー取り付け位置に取り付けてください。
センサーとセンサー取り付け位置にはマジックテープが付いており、簡単に着脱することができます。



⑥ACアダプターの端子を脱臭器本体の底にあるジャック穴に差し込み、ACアダプター本体を家庭用（100V 50/60Hz）コンセントに差し込んでください。約30秒後、センサーが待機状態となり、人体を感知すると脱臭器が運転を開始します。



⑦センサーは人の動きを感知し続けると運転を継続しますが、人の動きを感知しなくなってから約5分後に運転を停止します。ご使用中でも長時間一定の姿勢で着座されたときは、センサーが使用者の動きを感知しないため停止することがありますが故障ではありません。このようなときは、お体を前後に軽く動かすかセンサーの前に手をかざして、センサーが人体の動きを感知するようにしてください。



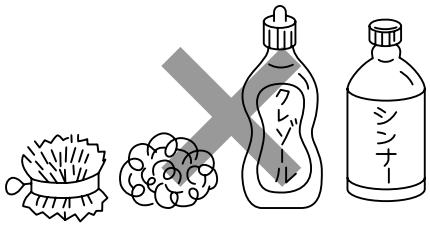
お手入れの方法

1 普段のお手入れは

本体の汚れは、スポンジかやわらかい布に住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。
便座・受け板は、本体から取り外すことができます。受け板は、ダクト部分を分解して掃除することができます。

注意

※手入れの際は、必ず本体からACアダプターを外した状態で行うこと
※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール、殺虫剤等は絶対に使用しないこと
木部の塗装がはがれたり、プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

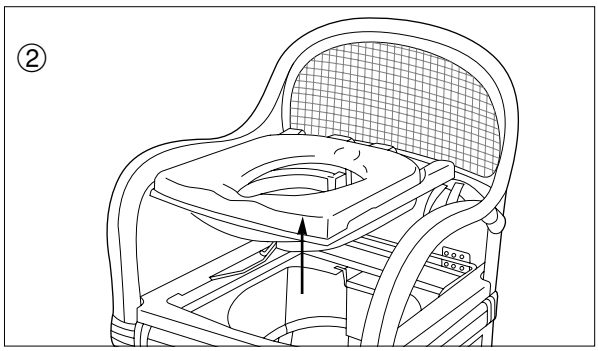


2 簡単な補修のしかた

籐製品は素材の特性上ご使用になっているうちに材料がささくれたり、先端部分が出てくる場合があります。その場合は、その部分を切り取るなどの処理をしてください。

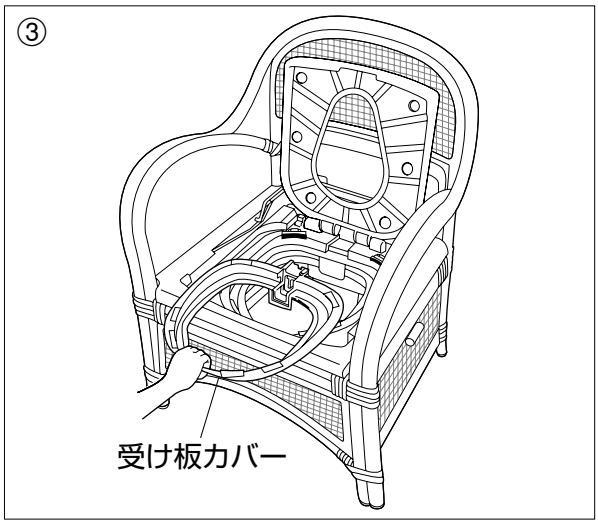
3 便座・受け板の外しかた

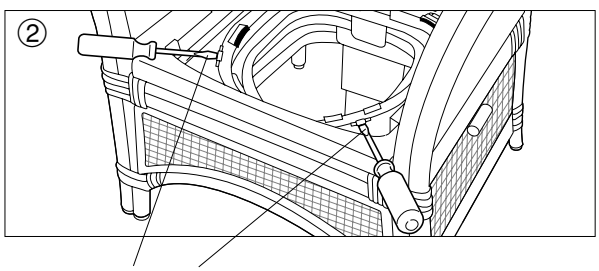
①便座を上げて、バケツを取り出します。
②センサーをはずしてから接続ダクトを外し、便座・受け板を取り外します。



4 受け板カバーの外しかた

①便座を上げて、バケツを取り出します。
②受け板の前方にある2ヶ所のツメを、図のように⊖ドライバー等を差し込んで外します。
③受け板カバーの前方を外して、ななめ上前方へ引き上げて外します。
④取り付ける時は、受け板カバーの後方を受け板に差し込み、受け板カバーの4ヶ所のツメを受け板にしっかりはめ込んでください。





ツメに⊖ドライバー等を差し込んで、外す

お手入れの方法

5 接続ダクトの外しかた

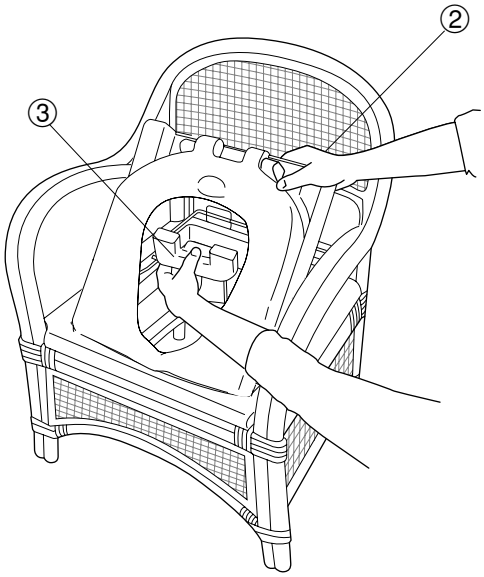
接続ダクトは、着脱、分解することができます。

①センサーを受け板からはずしてください。

②受け板の後部を少し持ち上げながら手前に取り外します。

③受け板からダクトを取りはずします。

④組み立てる時は、5・6ページの脱臭器の取り付けかた②④を参考にしてください。



⚠注意

センサーコードを引張ったり、折り曲げたりしないこと
断線して故障の原因になります。

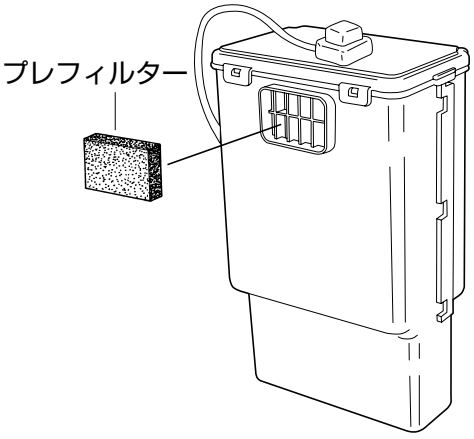
6 脱臭器のお手入れ

①ACアダプターを取り外し、センサーを受け板から外してください。

②脱臭器をトイレ本体から引き上げ取り外してください。

③受け板内のダクト及び接続ダクトは、汚れやほこりが溜りやすいので、時々ブラシ等でほこりを取り除いてください。また、落ちにくい汚れは、水で洗い流してください。

④接続ダクトと脱臭器の間にあるプレフィルターは、ほこりがたまりやすいので、月に1度は取り外して、やわらかいブラシ等でほこりを取り除いてください。



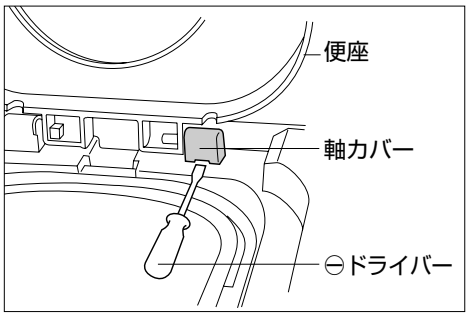
お手入れの方法

便座の分解・組立て方法

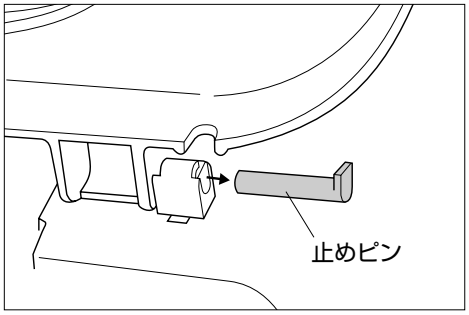
●お手入れや便座の取りかえを行う時

1 スライド式座面を後部にスライドさせ、便座を上げます。

2 軸カバーの溝に⊖ドライバー等を入れ、上に引き上げてください。

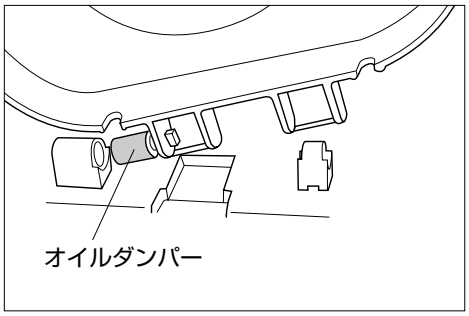


3 止めピンをぬき、便座を軸受けから外します。



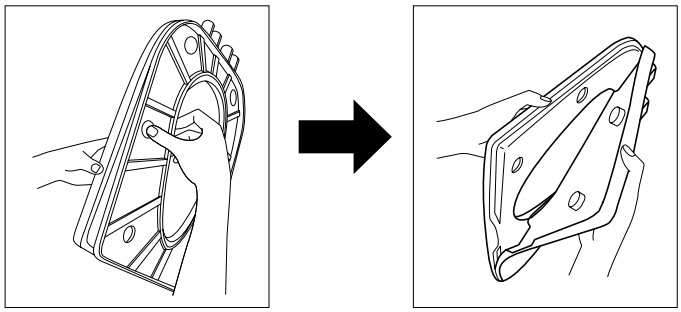
4 最後に受け板の軸穴からオイルダンパーをぬき、便座を分解します。

（オイルダンパーが軸受に残った時は、4の作業はいりません）
※組立てる場合は、4から逆の手順で行ってください。



便座はソフト便座と便座ベース板に分解できます。

凸部を押して分解してください。



注意

ソフト便座と便座ベース板に分解する際、無理に引っぱらないこと
強く引っぱると、ソフト便座が破損します。

故障かな？と思ったら

●修理などを依頼される前に、本書をよくお読みの上、次の点をお調べください。

こんなとき	調べるところ・原因・対策
においが取れない	・脱臭器を取り外し、プレフィルターのお手入れをしてください。 ・受け板の吸引口、脱臭器排気口をふさいでいるものがないか、確認してください。また、排気口に手をかざして、風が排気されていることを確認してください。 ・受け板カバー・接続ダクト・脱臭器がしっかり接続されているか、確認してください。
センサーに手などをかざしても作動しない	・センサーが汚れていませんか。 ・脱臭器・コンセントにACアダプターをしっかり差し込んでください。また2～3回抜き差しをくり返してから、しっかり差し込んでください。
人がいないのに作動し続ける	・座面が開いていませんか？開いていると、センサーが近くの人を感知する場合があります。使用しないときは、座面を閉めてください。